

## 開催報告

埼玉大学社会変革研究センターの防災減災への取組：

実用型マルチパラメータ・フェーズドアレイ気象レーダの講演と見学

実施日時：2025年11月13日（木） 13:30-16:00

実施場所：工学部環境社会デザイン学科3号館3階セミナー室

### 概要

現在、全国で局地的大雨や竜巻による被害が社会問題となっており、それへの施策が課題になっている。そのような背景のもと、日本技術士会関東支部からの依頼により、技術士の方々が防災・減災機能の強化策への知識を深め、技術士の資質向上を図ることを目的に「実用型マルチパラメータ・フェーズドアレイ気象レーダの講演と見学」が開催された。参加者は日本技術士会の会員25名であり、専門技術分野としては延べ13分野（全21分野中）から、40代前半から80代前半の方々が参加された。下記に示す3つの講演の後、3班に分かれて気象レーダの見学を行い、その合間に講演に対する質疑応答を行った。

### 実施内容

1) 開会挨拶 日本技術士会埼玉県支部 石田 正雄支部長 13:30-13:35

2) 講演

①レジリエント社会研究部門の概要 13:35-14:45

齊藤正人（レジリエント社会研究部門 部門長 理工学研究科教授）

②気象レーダ(MP-PAWR)の研究開発 13:45-14:35

佐藤晋介（情報通信研究機構 電磁波研究所 リモートセンシング研究室）

③気象レーダのデータを使った地域防災への取組み 14:35-14:55

長田昌彦（レジリエント社会研究部門 理工学研究科教授）

④Q&A 担当：長田昌彦 14:55-15:05

3) MP-PAWR 見学 担当：佐藤晋介氏、河谷能幸氏（NICT） 15:05-15:55

4) 閉会挨拶 日本技術士会埼玉県支部 菅原 宏副支部長 15:55-16:00



登壇いただいた方々（左から、石田支部長、齊藤部門長、佐藤氏、長田氏、菅原副支部長）



会場の雰囲気（司会：村山氏、事務：鹿毛氏）



見学会の一コマ（河谷氏（写真右）による説明）



気象レーダをバックに記念撮影